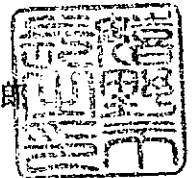


嬉建 第1060-2号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

嬉野市長 谷口太一郎



今後の道路行政についての意見・提案について (提出)

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼がありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①要請全般について改善すべき点、要望や提案など

佐賀県 嬉野市

現在の道路（街路）事業においては、認可後より補助採択となるが、計画を立案するにも費用がかかり地方の財源では計画すら出来かねる状況も見受けられる。

また、安易なバイパス計画は市街地の衰退を引き起こす要因ともなりうるため、計画策定時にも補助で対応できる制度の創設を検討いただきたい。

現状では、交付税の削減等、限られた予算内で新設改良費に重点をおいて整備しているが、舗装の老朽化など維持関係の要望も多くなっている。

今後、維持関係の要望も増加すると考えられ、幹線道路のみでの補助・交付金事業等の採択基準を緩和していただきたい。

九州新幹線西九州ルートが認可され、嬉野温泉駅が新設されることとなった。約10年後には同ルートが開通することとなる。嬉野温泉駅には当然ながら国道34号及び県道鹿島嬉野線へ接続するアクセス道路の新設が必要となる。

嬉野温泉駅の建設に伴うまちづくり事業やその効果についての事例分析を行い、嬉野温泉及び駅周辺の将来的な役割・位置づけを明確にしながら、嬉野市のまちづくりの方向性を示していきたいと考えているが、同駅が国道34号の歩道の未整備地区に予定されているため、歩道整備を要望する。また、アクセス道路の国道取付については、協力をいただきたい。